

静岡市剣道連盟

広報だより

第8号

発行：静岡市剣道連盟
事務局：静岡市葵区上足洗 4-3-28
☎054-246-9551

会長あいさつ

静岡市剣道連盟

会長 安永 宗司



静岡市剣道連盟へようこそ。

本連盟は、剣道の普及発展をはかり、青少年の健全育成と、剣道愛好家の親睦を目的として、昭和27年4月に発足しました。

情報化の時代となった今、いち早く情報を全員に伝え、便宜をはかるとともに、一般の方々にも剣道に対する理解や関心をもってもらいたくためにホームページを開設することになりました。当連盟で主催する大会、審査会、講習会等の情報や、静岡市在住の剣道愛好家の活躍状況等をお伝えしていきます。

また、全国各地や海外在住の方々にも静岡市剣道連盟のアピールとなり、交流を深めていくことに役立てば嬉しく思います。

護国神社の杜の奥、養浩館にて剣道は毎週月曜と木曜日の夜と日曜・祭日の朝、居合道は水曜、金曜、土曜日の夜に稽古会を行っています。剣道愛好家の皆様が静岡に来られる際は、剣道具ご持参のうえ、お気軽にお立ち寄り下さい。剣道は、先人たちが命懸けで作りに上げてきた日本の「伝統的文化遺産」です。そのすばらしさを子供たちに伝えるためにも、斯道普及発展に努める所存でございます。

今後とも当連盟にご支援、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

林学先生全日本高齢者武道大会優勝おめでとうございます。

平成24年6月4日(月)全日本高齢者武道大会が東京日本武道館において開催されました。元静岡市剣道連盟会長、現静岡市剣道連盟顧問 林学先生が見事優勝され、総理大臣賞を受賞されました。林先生には、大変お忙しい中、優勝の喜びを寄稿して頂きましたのでご紹介申し上げます。

平成24年8月3日

静岡市剣道連盟 会長 安永宗司

剣道修行を振り返って

静岡市剣道連盟

顧問 林学

私は、間もなく誕生日を迎えると87歳になります。親から「学」という名前を貰い、終生あらゆる人、あらゆる処から学びを得、感謝しながら生きるべしと運命づけられている様に思っています。

小学生5年生当時は戦時色強く、同学年の男子は全員剣道の教育を受けました。それ以来、戦後の中断や家業に専念していた時期はありましたが、常に剣道は念頭にあり修行に心掛けてきた積りで居ります。体にある程度、剣道の基礎が出来たかなと思えたのは、旧制県立静岡商業高校剣道部での5年間です。武道は正課でしたから立派な先生方が師範として居られました

が、放課後の部稽古には全く見えず専ら最上級生、主将他の先輩が指導し、互いに励み激しい稽古を毎日積み重ねました。学校での稽古以外にも武徳殿の早朝や夜間稽古に行き、先生方にぶつかり教えて頂きました。より多くの稽古をと頑張り、最上級生の時には県下優勝することが出来ました。努力と頑張りはずり力になるという自信に近い貴重なものを得られ、その後の人生、荒波の中で心の支えになったことは確かです。

戦後復活して間もない頃、早大稲門剣友会の剣豪を迎え、全静岡との対抗試合の大会が市公会堂で行われました。持田盛二、斎村五郎両範士に日本剣道形を打って頂けた立派な大会でした。大会後、警察署の道場で稲門会の先生方との交歓稽古が行われ、立派な先生方ばかりで驚きましたが、稽古をお願いした中に私は中芯線を攻め込まれ、進んで打とうにも殆ど手も足も出なく圧倒された先生が居られました。大岡貞という先生でした。一期一会、本当に一度だけ頂いた稽古でしたが、私はその時以来50有余年を経た今でも先生の剣先が脳裡に焼付いていて離れません。心の中で恩師と思つて居ります。家業を終え、60歳を過ぎ、亦先生方に稽古を頂き七段位を頂く事ができました。そして年月を経ますが今一度、大岡先生に稽古をお願いしたいとお尋ねをしましたが、早、天国の人となつて居られ、願いは叶いませんでした。しかし生涯を通じ、心に響く教えを頂き誠に感謝です。

思えば私には師として特に教えを導かれた先生は居りません。あらゆる人、諸先生、剣友、青少年達、総てが私の師です。そして今強く思うことは、この人と思える先生には積極的な学びと姿勢が大切であるということです。永い間、多くの人との交わりの中に多くの恩を頂いて今の高齢の自分があります。6月4日、全日本高齢者武道大会があり、図らずも最高齢(85歳以上)の部で優勝することができ、総理大臣賞を頂きました。無上の栄光であり喜びであ

りますが、常日頃お世話になっている諸先生方や身近な人々に声をかけられ祝福の言葉を頂く度に、少しでもご恩返しをすることが出来たのかなと思う思いがして嬉しさが湧き、改めて感謝の念を覚えます。

老齢になり、振り返ってみると、良い年をとっていくということはそんなに易しく楽なことではありません。僅かではあつても絶えざる努力と我慢がやはり必要です。事、志と違い足腰は確実に衰えてまいります。心の寂しさもありますが、ここに気力の大切さがあると思つています。そして、年をとるといことは、いくらか物事の判断、本質が分かる様になり、また皆さんの役に立つことがある筈であるとの思いもあり、又、陰の力になつて行けたら此の上ない喜びであると思うのです。残りの人生は僅かかも知れませんが、私は此の先も、生涯剣道を願い、此の道を歩いて行きたいと思つて居ります。皆さんに感謝して。



第7回鈴与杯少年剣道大会

開催日時 平成24年5月6日(日)
大会会場 静岡市営清水総合運動場体育館

◇小学生の部 22チーム 154名参加

優勝：大剣会

準優勝：武修館

三位：大浜剣友会、新運館

◇中学生男子の部 30チーム 180名参加

優勝：東海大学付属翔洋高等学校中部

準優勝：清水第七中学校

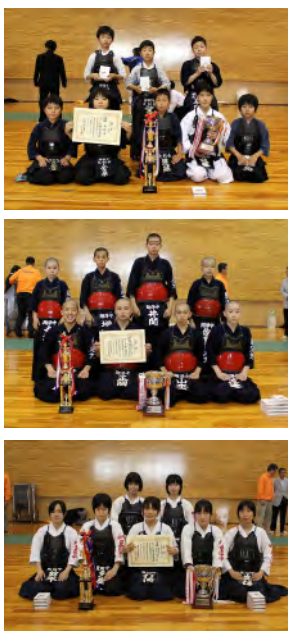
三位：東中学校、長田西中学校

◇中学生女子の部 25チーム 150名参加

優勝：豊田中学校

準優勝：服織中学校

三位：清水第七中学校、清水第一剣友会



第6回万灯みたま祭奉納剣道大会

開催日時 平成24年7月28日(土)
大会会場 (社) 静岡県剣道連盟「養浩館」

勝抜賞：五人抜き

- 1年 山崎優月(静岡武修館)
2年 秋山大誠(ヤマ・スポーツクラブ) 中澤心(清心館宮本道場)
3年 長尾心華(浜田剣道教室) 望月洗陽(小島剣道スボ少)
4年 竹村真紘(静岡武修館) 江川竜翔(静岡武修館)
5年 前田知里(静岡武修館) 山崎優斗(静岡武修館)
6年 長倉裕真(大剣会) 網本真乃介(SBS錬心館)
7年 望月天太(大剣会) 秋山朋葉(ヤマ・スポーツクラブ)
8年 上倉錬(SBS錬心館) 白鳥太一(静岡武修館)
9年 漆畑まこ(新運館「剣道教室」) 森文香(静岡武修館)
10年 長野隼也(東部体育館剣道教室)
11年 岩崎了(大浜剣友会) 佐藤亮子(大剣会)
12年 山本章太郎(大浜剣友会) 藤田拓大(北部体育館剣道教室)
13年 佐藤帆乃夏(新運館「剣道教室」) 寺田泰(高部剣道スボ少)
14年 長田篤哉(新運館「剣道教室」) 寺田泰(高部剣道スボ少)

敢闘賞：四人抜き

- 3年 藤村絢音(浜田剣道教室)
4年 松川美羽(静岡武修館)
5年 高塚恵斗(新運館「剣道教室」) 高橋胡都葉(興津剣友会)
6年 金原和磨(大剣会)



第50回近県青少年剣道大会

開催日時 平成24年8月12日(日)
大会会場 静岡市北部体育館

◇青少年の部 (7人制団体戦) 参加40チーム

優勝：青島剣道スボ少少年団(藤枝市)

準優勝：低鹿神社剣道教室(愛知県豊川市)

三位：静岡市清水区(静岡市)

※先鋒：小学生女子、次鋒：小学生男子、五将：中学生女子、中堅：中学生男子、三将：高校生女子、副将：高校生男子、大将：一般男子

◇小学生の部 (5人制団体戦) 参加67チーム

優勝：尚道館(磐田市)

準優勝：青島剣道スボ少少年団(藤枝市)

三位：武修館(三島市)

大浜剣友会(静岡市)



第61回(市政10回)静岡市民剣道大会

開催日時 平成24年10月8日(祝)
大会会場 静岡市北部体育館 剣道場

◇小学生4年の部

1位 網本 真乃介(錬心館)

2位 安藤 七海斗(新運館)

3位 岡田 雅弘(新運館)

3位 藤牧 郁也(高部剣スボ)

◇小学生5年の部

1位 漆畑 まこ(新運館)

2位 遠藤 健心(大剣会)

3位 岡村 亮輔(武修館)

3位 森 文香(武修館)

◇小学生6年の部

1位 藤田 拓大(大浜剣友会)

2位 竹田 吉宏(大浜剣友会)

3位 山本 章太郎(大浜剣友会)

3位 岩崎 了(大浜剣友会)

◇中学男子1年の部

1位 竹村 悠太(翔洋中)

2位 佐藤 大阿(翔洋中)

3位 木下 翔平(翔洋中)

3位 前田 紘一郎(東中)

◇中学男子2年の部

1位 雨宮 颯馬(翔洋中)

2位 藤川 泰成(長田西中)

3位 佐原 巧真(東中)

3位 水野 優(長田西中)

◇中学男子3年の部

1位 正岡 礼(翔洋中)

2位 山本 太一(翔洋中)

3位 片岡 和希(長田南中)

3位 須田 裕斗(清水七中)

◇中学女子1年の部

1位 花田 風夏(興津中)

2位 前澤 優花(小島中)

3位 木村 起央(清水二中)

3位 伴野 未佳(東中)

◇中学女子2年の部

1位 杉山 広夏(龍上中)

2位 杉山 秀香(豊田中)

3位 杉浦 真穂(豊田中)

3位 大石 萌恵(服織中)

◇中学女子3年の部

1位 石垣 あゆみ(第一剣友会)

2位 廣谷 柚葉(長田南中)

3位 富永 通香(蒲原中)

3位 鈴木 萌生(長田西中)

◇女子30歳未満の部

1位 吉岡 彩(静岡高)

2位 河村 安紀子(静岡高)

3位 仲尾 美咲(静大)

3位 宮坊 祥世(静岡高)

◇女子30歳以上の部

1位 佐藤 伊都子(大剣会)

2位 原田 香里(清武館)

3位 増田 準子(清武館)

◇男子40歳未満の部

1位 菊地 竜平(中央高)

2位 西澤 陽介(尚志会)

3位 中村 圭祐(静大)

3位 野崎 泰孝(鈴与)

◇男子40歳以上の部

1位 本多 廣之(用宗剣道)

2位 鍋田 光伸(清心館)

3位 荒木 栄一郎(清心館)

3位 遠藤 嘉浩(大剣会)



第6回静岡市段別居合道大会

開催日時 平成24年8月18日(土)
大会会場 静岡市北部体育館 剣道場

試合は50名が参加し、段外から三段までがトーナメント方式で、4段から6段までが演武形式で行われ、高校生から80歳以上の年輩者まで幅広く参加し熱戦が繰り広げられました。

◇段外の部

優勝 鈴木 淳子(中央体育館)
準優勝 山本 尚乃(無相会)
3位 柳田 若菜(大田堂拓心会)
敢闘賞 望月 綾乃(長田体育館)

◇初段の部

優勝 伊奈 幸子(中央体育館)
準優勝 高木 隆一(大田堂拓心会)
3位 秋元 柊(静岡八重垣会)
敢闘賞 真鍋 智(東部体育館)

◇二段の部

優勝 柴木 崇(無相会)
準優勝 秋元 直人(静岡八重垣会)
3位 佐藤 孝志(長田体育館)

◇三段の部

優勝 中村 弥弘(北部体育館)
準優勝 松永 俊乃(中央体育館)
3位 松本 園子(中央体育館)
敢闘賞 福地 智一(長田体育館)

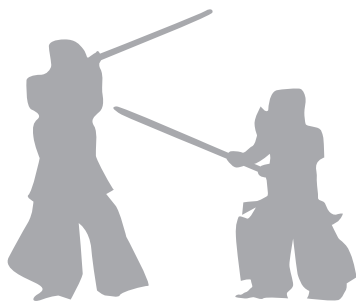
◇四段の部

優秀者 貝沼 恵子(英信流)

◇五段の部

優秀者 由良 尚美(英信流)

◇六段の部
優秀者 松下 武人(神伝流)



第10回静岡市中学新人団体戦

開催日時 平成24年10月14日(日)
大会会場 静岡市北部体育館
参加校数 男子28チーム 女子24チーム

【男子】

優勝 東海大学付属翔洋高等学校中部
2位 静岡市立清水第六中学校
3位 静岡市立服織中学校

【女子】

優勝 静岡市立豊田中学校
2位 静岡市立長田南中学校
3位 静岡市立東中学校
静岡市立南中学校



千葉市剣道連盟との 交流稽古会

場所 養浩館

日時 【1日目】 平成24年7月7日(土)
午後2時～4時

【2日目】 平成24年7月8日(日)
午前6時～7時

参加者 千葉市剣連40人 静岡市剣連60人



交 剣 知 愛

静岡市養浩館にて・平成24年7月7日

千葉市剣道連盟の皆様が来静し、交流稽古を行いました。



中体連だより 「剣道は人生の宝物」

蒲原中学校剣道部

富永 遙香

「中学校最後の中体連で、最高の結果を残したい。」と思うようになったのは2年の春休みからでした。それまでの中途半端な取り組みを二返し、自分ができる最大限の努力をしようと思ったのです。

私の所属していた蒲原剣道少年団や蒲原中学校は、決して強豪チームではありません。日々の稽古は基本打ちが中心で、どちらかといえば試合の結果を求めるよりも、いかに正しい剣道をするのかに重点を置いています。他校の強い選手は、多彩な技を使いこなす見栄えのある試合をする中で、私には面しかありませんでした。こんな自分に歯がゆさを感じた時期もありましたが、今振り返ってみると、私を東海大会まで導いてくれた要因の一つには、行き詰った時や迷った時には必ず繰り返していた面打ちがあったのだと思います。その面技をより正確なものにするために、部活動で行う基本打ちは特に意識をして取り組みました。また、稽古の中で先生に指導していただいた事柄は帰宅後すぐにノートに書き記し、翌日の注意点と目標とともに何度も目を通しました。ほんのわずかな努力の積み重ねが私に勇気と力を与えてくれました。

仲間や先生方の応援を受け、身の丈よりも大きな目標を胸に臨んだ中体連、自分なりに精一杯の力を発揮し、東海大会出場という十分に満足のいく結果を得ることができました。この結果は決して一人だけのものではありません。苦楽をともにした部活の仲間や、学校生活を全面的に支えてくださった顧問の先生、これまで指導してくださった多くのお力添えがあったからこそです。おかげで私にとって剣道は人生の宝物になりました。心より感謝申し上げます。高校でも更なる結果を求めて、今日の自分に満足することなく、日々稽古に励んでいきたいと思っています。



特 集 記 事

平成 23 年度 全県連少年剣道教育奨励賞を受賞された各道場

「少年剣道教育奨励賞」を受賞して

田町 剣道鉄誠会 牧田 侑久

この度「全日本剣道連盟少年剣道教育奨励賞」受賞を受けることができ大変うれしく思います。昭和 51 年に誕生し、現在に至っております。始めは近隣の小学校の体育館で現在は中学校の武道場を借りて、週 2 回、地域の子供達を中心に、その父母や社会人で活動しています。

剣道は、竹刀を持って相手の小手、面、胴を打ち合う競技です。そこには相手に対する礼の気持ちが無ければ、ただの打ち合いにすぎません。ただの打ち合いにならないようにこの精神を中心に稽古をしています。また、剣道の理念を最初の正座の時に斉唱し、日常生活の中で生かされればよいと思っています。

子供たちの世話は会発足以来父母が当番で行っています。父兄の方々とのおふれあい生まれ、子供、父母、指導員の関係も大変よい結果となっています。又この会を卒業して、大学生や社会人になって少しでも時間が空いた時には稽古に参加して、子供たちの指導に当たったり、お互いに稽古をする姿もみられます。

長く活動を続けている間にいろいろな困難もあります。私も高校時代に剣道を始め、15 年間やらず 33 才から再開し、34 才でこの会を父兄の要望で始めました。その間にアキレス腱を切ったり、44 才で商売替えをしたりして 10 年間程ろくに稽古も出来ませんでした。子供達が居たからこそ続ける事が出来た事を感謝しています。その中で育っていく子供達の姿を見るのが指導者としての喜びであり、生き甲斐でもあります。

剣道を通して、日本の伝統が永遠に続いていくことを願っています。日本の心を創るようにこれからも活動を盛り上げてゆきたいと思います。



ああ、剣道やっててよかったな！

興津 剣友会 久保田 博之

平成 23 年 11 月に全日本剣道連盟より少年剣道教育奨励賞を頂戴いたしました。まさに、今後とも、しっかり頼むよと励まされた受賞は、県剣連、市剣連をはじめ、多くの皆様方のお陰と会員一同、心からお礼申し上げます。

興津剣友会は、東海道 53 次 17 番目の宿場町興津地区において昭和 49 年 12 月、杉山勝久先生他 4 名が発起人となり始められました。当初は一般の剣道愛好家 10 名ほどで週 1 回程度の稽古が旧興津公民館にて行われていました。その後、隣接する小島地区の剣道スポーツ少年団の影響を受け、子供達の参加を呼びかけ、稽古日も週 1 回から 2 回、2 回から 3 回と増え今日に至っています。現在は、興津小学校、中学校の体育館をお借りしながら、日曜日(午前 7:30 ~ 10:00)、火曜日・金曜日(午後 7:00 ~ 9:00)にて稽古を行っています。稽古は、小学生、中学生を対象とした基本を中心としています。特に、日曜日の早朝 7 時半から 30 分間は宮城先生ご指導の下、木刀による剣道基本技稽古を行い、剣の理法の理解に努めています。また、若手の一般会員が良き指導者として活躍しており、きめ細かい指導には定評があります。時には、OB、OG の高校生剣士たちも多忙なスケジュールの中を、稽古に参加してくれ、良き先輩として小学生を相手に元立ち稽古をしたり、中学生・一般会員を交え、若さあふれる稽古が展開されます。また、浜田剣道教室、小島剣友会、芝川町剣道スポーツ少年団との合同稽古も定期的に開催され、他団体との剣の交流も盛んとなり、指導としての研鑽にも役立っています。

今回の受賞に際して、あらためて興津剣友会の永年の活動にご理解、ご協力を戴いた皆様方に感謝申し上げます。最後に私ごとではありますが、九代目会長となって日の浅い私にとって、日々稽古を通して気づきを提供してくれる愛すべき少年少女剣士たちに感謝しつつ、私がそうだったように、「ああ、剣道やっててよかったな！」という稽古に励んで参ります。

